

## 令和5年度 玉川どんぐり保育園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

### 1. 園の教育目標

元気いっぱい 笑顔いっぱいのおひさまになろう

- ① 明るいあいさつ ニコニコ笑顔のおひさまっ子
- ② たくさん遊んで まっかなおひさまっ子 (園庭や戸外で、思いきり遊んだり自然に親しんだりできる子)
- ③ 話の聞く力の高い 心豊かな かしいおひさまっ子
- ④ 友だちの中で育つ やさしく たのしいおひさまっ子

### 2. 本年度の重点目標

- ① 子どもの「やりたい」「やってみたい」を大切に
- ② 「自由遊び」や「戸外活動」を大切に
- ③ 「絵本」を大切に

### 3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	B
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修 (資質向上への取組)	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会 (モニター会) を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会 (モニター会) 等で定期的に懇談会を実施している。	B
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

### 4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・保護者の話や、アンケートより、子どもの成長を通して保護者に園様子が伝わっていると感ぜられる。
- ・教育整備環境について、園内や保育室では物の置く場所が限られているが、廊下が広く保育室内も整理整頓されていて、子どもたちが遊ぶ場所が確保できていると感ぜられた。時々見直ししながら、のびのび遊べる環境を作っていくことが大切だ。

### 5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・今年度はコロナが5類に下がり、世間では様々ことが解禁され、園でもコロナ禍ではできなかった外部の皆さんや園内での交流ができるようになり、地域の皆さんとの連携が子どもたちにとって良い刺激となった。
- ・また、今年度より「幼保連携型認定こども園」になったことで、子育て支援について考える機会も増えた。
- ・約4年間、感染拡大防止の観点から、密集しない行事や保育をおこなってきて、ゆったりとした保育の良さを十分感じてきたため、どこまで行事などコロナ以前に戻すのか、慎重に考えながら行こう、と職員と話してきた。しかし、保護者の「以前に戻してほしい」という声も聞くため、来年度も引き続き、子どもにとってなにが1番なのか、保育の在り方について考え、保護者の方に理解していただけるよう、情報発信を行ってきたい。